

薫風

おおいそ学園長 武重 英樹

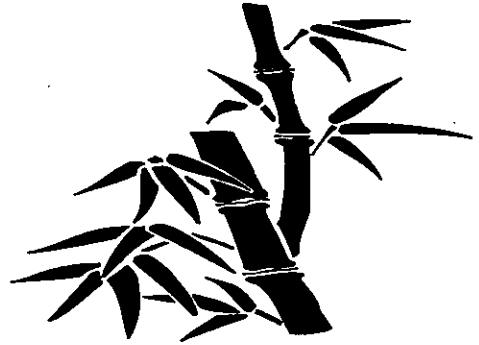
今年4月、2度目となるおおいそ学園で仕事をさせていただくことになった。

1度目は今から34年前の昭和59年、再整備事業により現在の寮舎が建てられた時期。8つあった寮舎の運営形態は、4つの寮が小舎夫婦制、その他の寮は小舎併立制であった。学校教育に準ずる学科指導が認められていた時代でもあり、私は日勤教護として寮と学科を担当していた。

5年間、毎日正門の前にさしかかると深呼吸をして、今日も頑張るぞと力を入れながら、豊かな自然の中で子どもたちに向き合った。昭和63年には創立85周年で記念誌の発刊にも携わったが、あらためて先駆者たちの教護（感化）理念とともに学園が歩んできた歴史の重み、学園に携わってこられた先輩職員や関係機関の方々の子どもたちへの熱い想い、そして地域の皆さんの暖かい支援、協力を知る貴重な機会となった。

園長室にある「流汗悟道」の額装に目を置き、青い空、澄み切った空気、緑に包まれた湘南丘陵の一角にある、この学園で再び働くにあたりあらためて思う。

美しく、自然の恵みに懐深く抱かれた素晴らしい自然環境は、今も昔と変わらないが、再整備当時から将来展望されていた対象児童や施設機能は、教護院から児童自立支援施設と名称が変わり見直しがなされた。また、子どもたちの生活基盤となる生活寮は交替制へと変わり、平成15年には学校教育が導入され、園内に小・中学校の分校が設置された。



このような変遷の中、昨今は子どもに対する個別の関わりが増え、個々の課題や状態に配慮をした専門的な関わりが求められている。また、一人ひとりの子どもに対し、職員が共通認識を持ち職員相互の連携をしっかりと図っていくことが強く求められている。

一方で、一変えてはいけないこと一

子どもたちは様々な理由で学園に入園してくる。このことは昔も今も変わらない。児童自立支援施設の現場にあって私たちの使命は、子どもとの関わりの営みの中で、一人ひとりの子どもの心の中に溜めている悲しみや憤りの感情を受け止め、理解すること、自らをかけたがえのない存在であることを伝え、自信をつけさせ自分を大切にできるよう支援することである。このことは変えてはいけない。

先日、面接をした子どもから「自然は嫌いだ。」と言われてしまった。嫌いであっても、いずれ、このおおいそ学園の風薫る風景が、子どもに勇気を与え、自信を持って前に進む力になること、そのような学園であり続けられるよう努力したい。

行事予定

5月 2日～6日

5月16日

5月25日

6月 8日

GW帰宅訓練期間

遠足(分校行事)

ビーチコーミング

プール開き

6月18日～19日

6月27日～28日

7月20日

期末テスト

関東少年野球大会

分校終業式

生沢分校通信

■ 国府小学校長 秋山 実 先生

新年度のスタートが待ちきれなかったように、今年の桜は例年になく早く咲きました。

わたくしは今年度より、国府小学校生沢分校の校長として着任いたしました。皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

分校の始業式では、有名な『心が変われば』の格言を紹介しながら、「よりよい習慣を身につけていきましょう」という話をさせていただきました。

毎日繰り返される望ましい行動の積み重ねが、人の心を変え、生き方やその人全体を変容させるのかもしれませんが。

子どもたちは皆、よりよい自分になろうという気持ちを抱いていると思います。その気持ちが具体的な行動となり継続したものとなるよう、学園と連携しつつ、一人ひとりの頑張りを認め支援したいと考えます。

今年度も、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

■ 国府中学校生沢分校 高沢 研司 校長

今年度生沢分校はお陰様で創立15周年を迎えました。関係各機関のご支援ご協力の賜と心より御礼申し上げます。ありがとうございます。この節目の年の11月2日(金)には「第3回報告会」を開催する予定となっております。本校の取組をご覧いただき、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

さて、生沢分校のスローガンは

『Chance Challenge Change』です。このスローガンを設定してから早いもので5年が経過しようとしています。今年度もこのスローガンを継続することにしました。手前味噌ではありますが、おおいそ学園で生活し、生沢分校に通学する生徒にとっても適したものであると感じます。「分校に来たことは自分を変えるチャンスである。いろいろな事に挑戦し、大きく変化し成長した姿で次のステップに進もう!」という意味が込められており、転入時のオリエンテーションでこのスローガンの意味を一人ひとりに伝えるようにしています。

着任の先生方の挨拶

■ 小学部 進藤 大輔 先生

中教育事務所から参りました。久しぶりに学校に戻りました。体を動かすことが大好きです。広～い学園の敷地で、めいっぱい体を動かして、子どもたちと一緒に様々な学習活動に挑戦していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

■ 中学部 多賀 雪子 先生

小田原市立酒匂中学校から来ました。教科担当は音楽です。風に揺れる木々のサワサワした音。鳥のさえずり、波の音など自然の音が大好きです。授業では歌とアンサンブルをできる!と信じて、頑張ろうと思います。よろしくお願ひします。

■ 中学部 木村 将也 先生

平塚市立神田中学校から参りました。教科は、数学を担当します。初めての異動で不安が半分。楽しみが半分です。数学の楽しさを少しでも知ってもらえるよう頑張るのでどうぞよろしくお願ひします。

■ 中学部 西澤 千晴 先生

本年度より美術を担当させていただくことになりました。中学校教員は未経験で、まだ分からないことだらけの状態ですが、子供達が美術を通して少しでも心を開いてゆけるよう頑張っけてゆきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

お世話になった先生方、ありがとうございました

- | | |
|-------------|-----------------|
| ■鈴木 義邦 校長先生 | 神奈川県教育委員会へ |
| ■安田 昂祐 先生 | 広島県 府中町立府中東小学校へ |
| ■境 英人 先生 | 大磯町立大磯小学校へ |
| ■下山 理枝 先生 | 大磯町立大磯中学校へ |
| ■田辺 和大 先生 | 平塚市立神田中学校へ |
| ■渡邊 京美 先生 | 退職 |



おおいそ学園 新任職員の挨拶

■園長 武重 英樹

巻頭言(1ページ)にてあいさつ

■自立支援課長 山岸 秀俊

3度目の赴任で自立支援課長として戻ってきました。最初の赴任時は、学園はまだ教護院と呼ばれていました。無断外出を繰り返す児童もあり昼夜問わず学園にいた記憶があります。働き方改革とは無縁な時代でした。皆さんとより良い学園づくりを進めていきたいと思ひます。

■自立支援課 梅寮 大原 啓裕

梅寮に配属されました大原啓裕です。部活には積極的に参加し、みんなのサポートできるように頑張ります。卓球とサッカーが得意なので機会があればやりましょう。

■自立支援課 梅寮 中川 悠

梅寮に配属となりました中川です。部活動や寮生活等一緒に沢山の時間を共有していくと思ひますので、どうぞよろしくお願ひ致します。気軽に声を掛けてくれると嬉しいです。

■自立支援課 竹寮 田所 裕太郎

今年度よりおおいそ学園に配属になりました。田所と申します。先輩職員の皆さんに少しでも早く追いつけるよう尽力していく所存です。よろしくお願ひいたします。

■自立支援課 竹寮 西原 淳一郎

本年度配属となりました西原と申します。先輩方が築き上げた伝統を引き継いでいきます。よろしくお願ひします。

■管理課 都田 光彦

管理課、武石さんの後任で4月に着任した都田(つだ)と申します。

既に、広大な敷地と膨大な仕事量に圧倒されてしまっておりますが、学園の子どもさん達、そして職員の皆さんを日々縁の下でしっかり支えられるよう、努めてまいります。



■自立支援課 桂寮 添田 茉友子

今年度から配属させて頂く添田です。趣味はサッカー観戦、特技はピアノ演奏、語学(韓国語・ポルトガル語)、ゲームクリエイトです。これからよろしくお願ひします!

■自立支援課 桂寮 篠崎 和雄

桂寮に配属となりました篠崎です。おおいそ学園での子ども達の生活がよりよくなるように支援していきたいと思ひます。運動に作業と子ども達と一緒に精一杯頑張ります!

■心理 中村 直貴

新しく心理職員として勤務させて頂きます。学園の中で子どもにリラックスして過ごしてもらい、心の成長を見守っていききたいです。よろしくお願ひいたします。

■看護師 永井 安子

4月からおおいそ学園にきました、看護師の永井です。皆さんが元気に毎日を過ごすことが出来ますように見守って行きたいと思ひます。体調のことで困ったことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

■栄養士 久保田 律子

4月からおおいそ学園にきました、栄養士の久保田です。とにかく食べるのが大好きです。栄養になる、おいしい食事を考えていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします!

お世話になった職員の方々 ありがとうございます

■ 園長 菊池 正敏 ~ 退職

■ 支援課長 高須 正幸 ~ さがみ緑風園

■ 梅 寮 長島 広典 ~ 中央児童相談所

栗山 裕太郎 ~ 中央児童相談所

■ 高等部 有泉 淳 ~ 子ども自立支援センター

■ 栄養士 荻野 利江 ~ 子ども自立支援センター

■ 竹 寮 相良 賢次郎 ~ 鎌倉三浦

地域児童相談所

山岸 岳 ~ 中央児童相談所

■ 桂 寮 松崎 めぐみ ~ 中央児童相談所

■ 管理課 武石 浩一 ~ 公文書館

看護師 斎藤 好江 ~ 退職

各寮レポート(寮長だより)

梅寮

毎年のごとくですが、進学や就職を機会として3月に子どもたちの退園が続き、4月になると、職員の入替わりがあり、新しい年度が始まります。子どもたちにとっては慣れ親しんだ職員がいなくなり、新しい職員が入ってくるわけですから、緊張したり、気持ちが不安定になったり、新しい職員に対する「お試し行動」をとってみたい時期になります。

でも今年度は少なくとも表面上はスムーズなスタートとなっています。理由はわかりませんが、この時期の子ども集団の乱れがだんだん小さくなっているように思えます。子どもたちは元気で楽しそうにしているのでよいことだとは思いますが、逆「なんで？」と少し気になるころでもあります。

梅寮 今西寮長

竹寮

竹寮では今年度の取り組みとして、環境醸造による刺激の緩和を行っています。周囲からの刺激に反応し、調子が高くなったりトラブルに発展する児童が多く、なかなかセルフコントロールができません。そこで、寮全体で集団ではなく個人で過ごす時間を設けています。周囲のことはあまり気になってしまう状況から、少しでも意識が自分自身に向きやすい環境を作ることにより、落ち着きを取り戻し、コントロールに結び付けられればと考えています。そして、遊ぶときは大いに遊ぶという、メリハリもつけられるようになってくれればと思います。

竹寮 池田寮長

桂寮

数名の子どもと職員が入替わり桂寮は現在10名の子どもと11名の職員で生活しています。子どもは小学5年生から中学3年生、職員は20代から50代までの幅広い年齢層となっていますが、いつも和気あいあいとした雰囲気漂っている寮です。今の桂寮の流行は、五目並べ、将棋です。毎晩、子ども同士、子ども vs 大人で白熱した対局が繰り広げられています。テレビ番組では、「午後のロードショー」の巨大生物ものの映画番組を録画して楽しんでいます。今年度も桂寮の個性的でかわいい子ども達を応援してください。

桂寮 新納寮長

いちよう寮だより

いちよう寮は門のそばにある、緑の屋根の黄色い平屋建ての建物です。昭和の匂いのある建物で、子ども達には「おばあちゃんの家」のような印象を与えています。昨年は14組の家族がいちよう寮を利用して交流を行いました。家族と一緒に食事を作って食べたり、ゲームをしたり、テーマを決めて話をしたりしています。家族と一緒に向かって話をすることや食事をする極当たり前のことをあえて行うことで、それぞれが何かを感じ取ってくれたらいいなと思います。今年もたくさんの家族の皆さんのご利用をお待ちしております。

三瓶久美子



編集後記

新年度になり、大人も子どもも野球尽くし！昨年度の全国大会3位の上を行く成績を目指し日々大きな声を響かせて、今年の夏も皆様に良い報告ができると思います。

保護者の皆様、関係者の皆様の応援が子どもたちの力となりますので、今後ともご協力よろしくお願い致します。

広報委員会